昭和51年7月15日 第三種郵便物承認
平成21年11月25日発行（毎月1回25日発行）

広報 つわの

2009 平成21年 Vol.50 12月 師走

●新町長就任のあいさつp2

○前町長退任の挨拶p4　○津和野町の一般会計・特別会計　財政状況p6



下森町長の初登庁の様子

平成21年 Vol.50 2009 12月号
http://www.town.tsuwano.lg.jp
〒699-5292 島根県鹿足郡津和野町日原54番地25
TEL0856-74-0038／FAX 0856-74-0002
編集：津和野町広報委員会／発行：津和野町情報企画課
印刷：㈲坂田印刷

Library

今月の新刊図書

（津和野図書館）

「ちいさい"つ"が消えた日」
ステファノ・フォン・ロー著（三修社）

「フリーター・家を買う」
有川　浩著（幻冬舎）

「100円グッズで
すぐ片付く！スッキリ収納」（学習研究社）

「シネマ食堂」
飯嶋　奈美著（朝日新聞社）

（日原図書館）

「小太郎の左腕」
和田　竜著（小学館）

「臨界潜入捜査」
今野　敏著（実業之日本社）

「阿寒湖わらべ唄殺人事件」
小谷　恭介著（実業之日本社）

「かんたん干物づくり
朝つくって夜には食べられる」
島田　静男著（家の光協会）

「15分でできるみうたさんの
蒸しパン&蒸しまんじゅう」
江島　雅歌著（家の光協会）

「ポルトガルのむかしばなし
はしれ！カボチャ」
エバ・メフト著（小学館）

※年末年始休館日のお知らせ

津和野図書館は12月29日（火）～1月4日（月）、日原図書館は12月30日（水）～1月4日（月）まで休館します。

お祝い申しあげます（敬称略）

◇10月届出分

山田（やまだ）煌斗（あきと）　10・5（相撲ケ原上）
松尾竹千代（まつおたけちよ）　9・10（東二）

おくやみ申しあげます（敬称略）

◇10月届出分

水津　年之　10・9（三渡曽庭）76
若松　正夫　10・13（東一）88
石井　文惠　10・14（喜時雨）73
和崎　正子　10・17（森四）80
宮田美惠子　10・17（旭町上）64
永谷　美衛　10・20（町田）78
倉田ヒサコ　10・22（森二）76
大庭　幸枝　10・22（鹿谷）58
長嶺タマヨ　10・26（鷲原一）94
森元　勇　10・27（木ノ口下）76
椿　暎子　10・28（本町一）81

■寄付のお礼

次の方からご寄贈をいただきました。
ありがとうございました。

草刈　ヨシ子　様（中座一）
福祉事業へ2万円

■住民基本台帳（平成21年10月末現在）

世帯数	3,730世帯	人口	8,907人（男4,138人　女4,769人）	出生	2
				死亡	12
				転入	14
				転出	16

国内材、高級石材取扱専門/霊園、墓所企画開発
—各宗社寺御用商—
有限会社 森本石材
（0120）55−7154
■津和野本店/寺田823−1　TEL（0856）72−1002㈹
■吉賀営業所/七日市907−3　TEL（0856）78−2078

広報つわのに掲載する有料広告を募集しています。

○1枠1号あたり　5千円（町外：8千円）
○2枠1号あたり　10千円（町外：16千円）
1枠の大きさは、縦が4.5㎝、横が8.5㎝になります。

広告の掲載を希望する月の前月末日までにお申し込みください。
詳しくは、ホームページをご覧になるか、情報企画課（74−0038）まで、お問い合せください。

住民基本台帳の一部の写しの閲覧に関する公表についてのお知らせ

個人情報保護への意識が高まっているなかで、平成18年11月1日より、住民基本台帳の閲覧に厳しい制限が設けられました。これにより、閲覧者の氏名などを少なくとも年に1回は公表することになりました。
（平成20年11月1日から平成21年10月31日までに閲覧のあったものについて公表します）

請求機関名	閲覧年月日	請求事由、概要、その他	閲覧に係る住民の範囲
社団法人　中央調査社 会　長　中田正博 （委託者:慶應義塾大学）	平成21年1月21日	「仕事と生活調査」実施のため。 就業、住居、家計についての調査。生活・経済関連のパネル調査データの構築を行なうとともに、データ解析・研究を通して社会構造分析、社会政策提言のための資料とする。	春日町の20歳以上の男女。抽出数52名。

町長就任にあたって

津和野町長　下森　博之



10月30日の津和野町長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず最初に、先に行われました町長選挙におきましては、多くの皆様方からのご支援とご支持を頂戴いたしましたことを心よりお礼申し上げます。

この間、町民の皆様方から頂いた一つ一つのお言葉とご期待を初心として常に忘れることなく、高齢者世代から若者世代、そして本町の未来を担う子ども達まで、全ての町民が幸せに活き活きと暮らせるよう、行政の最大の使命であります住民サービスを追求してまいりたいと決意しています。どうぞよろしくお願いいたします。

本日ここに至るまでの活動を通して、私は、町内全域を隈なく何度も歩いてまいりました。多くの町民の皆様とお話をする中で、高齢者の方々からは生活に対する不安、自営業者の方からは商売を続ける上での見通しの暗さ等、聞こえてくる声の大半は厳しい現実と将来に対する希望を持てない、そのような閉塞感に苛まれたものでありました。

そしてその言葉を裏付けるように、町内には独居の高齢者が増え、また、山間部も市街地も関係なく空き家が増えているということ、更には、これまで支えあい、助け合いの中で営まれてきた集落そのものが、過疎化により崩壊しようとしている現実を目のあたりにしてまいりました。

そうした中で町民の皆様方が私に望んだものは、まさに変革に対する期待であると受け止めています。津和野町が活力を生み出すために、町民の皆様と行政との相互理解を深めると共に、行政改革を更に進め、新しい町づくりの仕組みを構築していかなければならないと考えています。

一方、国の動きに目を向けますと、ご承知のとおり、8月の総選挙において、わが国は政権交代がおこり、二大政党制が本格的に実現しています。私はその動きというものを、国による中央集権体制がついに終焉を遂げ、これまで名ばかりであった地方分権がいよいよ本格的に進められていく流れの中の一つとして受けとめています。

地方分権とは、一言でいうならば、それぞれの地域が自分たちの町の特性を生かして町づくりを行い、自治自立を実現していくことであると思います。それは耳ざわりの好い言葉でありますが、裏を返せば、町づくりに成功するかどうかで発展する町と衰退を歩む町に色分けがなされる、厳しい時代に突入したとも言えると思います。

わが津和野町がそんな厳しい地域間競争を生き残るためには、これまでの中央集権体制時代の行政手法から完全に脱却し、地方分権に対応した新たな町づくりへと変革をしていかなければなりません。そのもっとも基礎となるのが、私がこのたび政策公約の柱として掲げました、「住民参画による民間と行政との協働の町づくり」を構築していくことにほかならないと信じております。

町民の皆様方にこれまで以上に積極的に町づくりへ参加をして頂き、行政との役割分担のもと総力戦で町づくりを行う環境を創るということ、そしてそれに対応した機能的な行政となるよう改革を急がなければなりません。

では、どのように行政の改革を行っていくのか。まず重要なことは町民に対して開かれた行政でなければならないということであります。町民の皆様方の目線で分かりやすい行政情報の公開を積極的に行い、更には町が行った事業の結果がどうであったかを町民監視のもとに公平な評価をする行政評価制度を取り入れるなど、透明性の高い町政を実現する必要があります。

また、本町の資源を活用し、新しい活力を生み出すための先進的な取り組みを、自ら行っていく活力創造型の行政へと意識転換を図らなければなりません。

更には、職員の地域担当制を導入して、町民の皆様方の日常生活の中での思いや悩み、課題などを常に情報として行政が把握できる体制を整え、また、民間の町づくり活動を積極的に支援する部署も設けるなど、官民協働で町づくりを進めてまいりたいと考えています。その上で、豊かな自然や歴史と伝統により培われた文化等、本町のもてる力を十分に活用し、町民の皆様方の英知と力を結集して、官民協働による町づくりの総力戦を展開することができれば、津和野町の将来は必ずや開けると確信をしています。

この町づくりの理念を土台として、医療や福祉、教育や産業振興等、本町の具体的な施策と事業を展開してまいりたいと考えますが、まずは私自身があらゆる場で町民の皆様方の元へ出向き、更なる多くの声をよく聞きながら、町民の皆様方の「思い」を「形」にするべく、努力してまいる所存であります。

「利の為に節を違えず、事業を積極的に経営すべし、而（しこう）して常に新機軸を出すべし」これは、町内で病院事業を初めて展開された大庭政世先生のお言葉であり、「新機軸」とは従来のものとは異なる新しい工夫を意味します。まさに地方分権時代を生き抜くために相応しい言葉であり、この言葉を胸に刻み、郷土が生んだ偉大なる先人に倣いまして、これから我が津和野町の新機軸を打ち出し、町民の皆様より頂いたご付託に必ずや答えたいと決意しています。

今後とも町民の皆様方には変わらぬご指導とご支援を頂戴しますことをよろしくお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

新津和野町議会議員



米沢　宏文（文教民生）



岡田　克也（文教民生）

平成21年10月25日執行

津和野町長選挙
津和野町議会議員補欠選挙開票結果

■津和野町長選挙

得票数	氏　名
3,298	**下森　博之**
2,001	松浦　秀信
1,209	永吉　義夫

■津和野町議会議員補欠選挙

得票数	氏　名
2,838	**岡田　克也**
1,305	**米沢　宏文**
1,149	川田　剛
702	丁　泰仁
331	百合本修司

津和野町選挙管理委員会

町長退任にあたって

前津和野町長　中島　巖



町長退任にあたり、一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

改めて申し上げるまでもないことでありますが、平成17年9月25日に、旧津和野町と旧日原町の二町が合併をし、新しい津和野町が誕生したのであります。その初代町長に、不肖私が、同年10月30日に就任をさせていただきました。早いもので、あれから4年の歳月が過ぎ去りました。この間、町民の皆様方には常に温かく接していただき、そして、力強くご支持ご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、いろいろありながらも、まずは今日を迎えることができましたことを、心から厚くお礼を申し上げます。

私は任期満了に伴い、10月29日をもって町長の職を引退させていただきました。

不肖私は、合併を進めてまいりました責任者の一人であったということから、町民皆様方の負託を受け、新町の舵取り役を担わせていただいたところであります。

二つの町は、隣同士の身近な関係にありましたが、しかし、長い間、それぞれの道を歩んできたわけですから、いろいろな面で異なったところも多くあり、私は新しい町の建設にあたっては、何といってもまずは町民の皆様の一体感の醸成、すなわち一日も早くお互いの心がひとつになることが重要であると考え、そのことをいつも念頭において町政の執行に務めてまいりました。

就任以来、いつも町民の皆様方の視点にたって、終始一貫、清潔で公平、明朗、公正を理念として町政の執行にあたってまいったところであります。

おかげをもちまして、町民の皆様方の間には、特に津和野だ、日原だといった地区感情を露にした、とげとげしい雰囲気が生まれるといったこともなく、今日を迎えることができ、大変喜んでいるところであります。

こうした状況を見る限りにおいては、真に合併を成就させるといった私のお約束が十分とはいえないまでもある程度果たせることができたのではないかと思っているところであります。

合併は、それ自体が目的ではなく超少子高齢化社会を迎え、それに対する適切な対応やあるいは地方分権の進展など今までとは大きく変わってくる諸情勢に適格に対応するための有効な手段の一つとして進められてきたのであります。しかし、この4年間を振り返ってみまして、果たしてそのような理念に副った状況にあったと言えるのかどうかについて考えてみますと、残念ながら合併時にはまったく予想していなかった国の地方に対する厳しい財政抑制措置等によって、町は誠に至難な行財政運営を強いられてまいったのが現実であります。

そのために町民の皆様に対しては、より質の高いきめ細やかな行政サービスを提供することが難しく、ご不満の面も多くあったのではないかと申し訳なく思っております。しかしながら、そうした厳しい状況の中ではありましたが、福祉や医療対策や経済基盤となる観光や農林業の振興対策、道路や下水道や簡易水道等の生活基盤の整備あるいは教育、文化の振興対策、さらには高度情報化社会に対処すべき必要な施策等、手を拱いているわけにはまいらない課題が山積していましたので、十分とは言えないまでも、そうした諸施策の推進に精一杯努めさせていただいたところであります。

特に、財政の運営につきましては、その健全化に意を注いでまいったところであります。

おかげをもちまして合併時に181億7千万円ありました起債、いわゆる借金は、繰上償還などにより今年度末の決算見込みでは約8億1千万円多い12億4千万に増やすことができました。

まだまだ十分とはいえませんが、何とか財政再生団体にはならないで済む状況にあり、安堵し喜んでいるところであります。

この4年間、本当にいろいろなことに取り組ませていただきました。ここでそのことについて具体的に申し上げることは控えさせていただきますが、中でも特に心痛をいたしましたのは、病院問題でありました。他の施策も皆大事でありますが、それでも先送りをしたり、場合によっては取りやめるといったこともできますが、医療の問題は一国も放置できない、ゆるがせにできない問題であります。

町民の皆様方が病気になられても診察をしてもらうところ、治療をしてもらうところ、あるいは、入院をするところが無いといったようなことになったら大変でありますので、そのようなことにならないように、一生懸命に取り組んでまいったところであります。

昼夜を分かたず、時には寝食を忘れ東奔西走してまいりましたが、幸いにして、議会をはじめ、多くの関係の皆様方の深いご理解と力強いご支援、そして諸先生方やスタッフの皆様方の地域医療に対する崇高な理念と情熱によって、何とかこれを維持存続させることができ、今日を迎えておりますことは、誠にありがたく、感謝を申し上げますとともに、喜んでいるところであります。

町政の運営は、もちろん町長一人の力でできるものではなく、全職員の協力、そして町議会の皆様を始め、国や県等の関係の皆様方のご支援、そして何よりも町民皆様方の深いご理解と温かい力強いご援助があったからにほかありません。改めてご厚情に対し、心から厚く御礼を申し上げる次第であります。

今後におきましても、何かと課題は山積し、町政の運営は決して容易ではないと考えますが、新しい町長のもとで一致協力し、豊かな自然と歴史に育まれ、文化の薫り高い、そして特産に恵まれた地域性を存分に活かした存在感のある「人と自然に育まれ温もりのある交流のまちづくり」が推進されることを願っているところであります。

ともあれ、この4年間、町民の皆様方には本当にお世話様になりました。旧町時代から4期にわたり町長の職を務めさせていただきましたが、特に、合併により発足した新町の着実な歩みのため微力を尽くす機会を得させていただきましたことは、私の畢生（ひっせい）の思い出となるものであります。このご恩は、生涯忘れることはありません。

私も、今後は一町民として、町政の発展と町民の皆様方の福祉の向上を願いながら、可能な限りご恩返しに務めてまいりたいと考えておりますので、今後とも変わりませず、どうかよろしくお願い申し上げます。

終わりになりましたが、町民皆様方お一人おひとりのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、町長退任にあたってのお礼のご挨拶といたします。本当にお世話様になりました。ありがとうございました。



【決算報告】 平成20年度

津和野町の一般会計・特別会計

財政状況をお知らせします

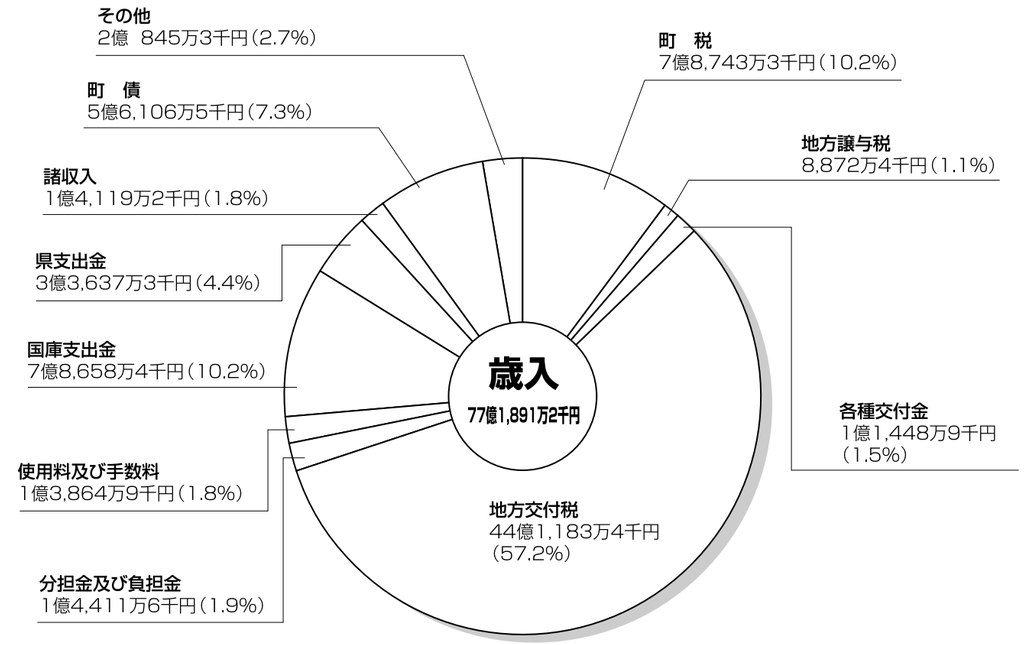
平成20年度の津和野町一般会計及び特別会計の決算が承認されました。1年間に税金、交付金、補助金など（歳入）がどのくらい入り、私たちの暮らしのためにどのように使われたか（歳出）を明らかにするものです。

平成20年度一般会計決算額は、歳入総額が77億1、891万2千円、歳出総額が76億5、010万1千円で歳入から歳出を引いた6、881万1千円が黒字として計上されました。

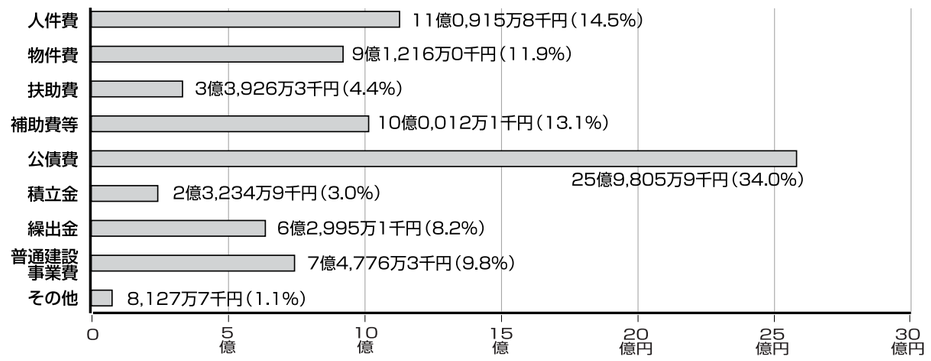
歳入は、自主財源（町が独自に調達できるお金）と依存財源（地方交付税など自主財源以外のお金）に分けることができますが、平成20年度の自主財源の割合は18・4％で、その内町税が最も大きく7億8、743万3千円（10・2％）、続いて、分担金及び負担金1億4、411万6千円（1・9％）、使用料及び手数料1億3、864万9千円（1・8％）、諸収入1億4、119万2千円（1・8％）、繰入金1億977万4千円（1・4％）となっています。

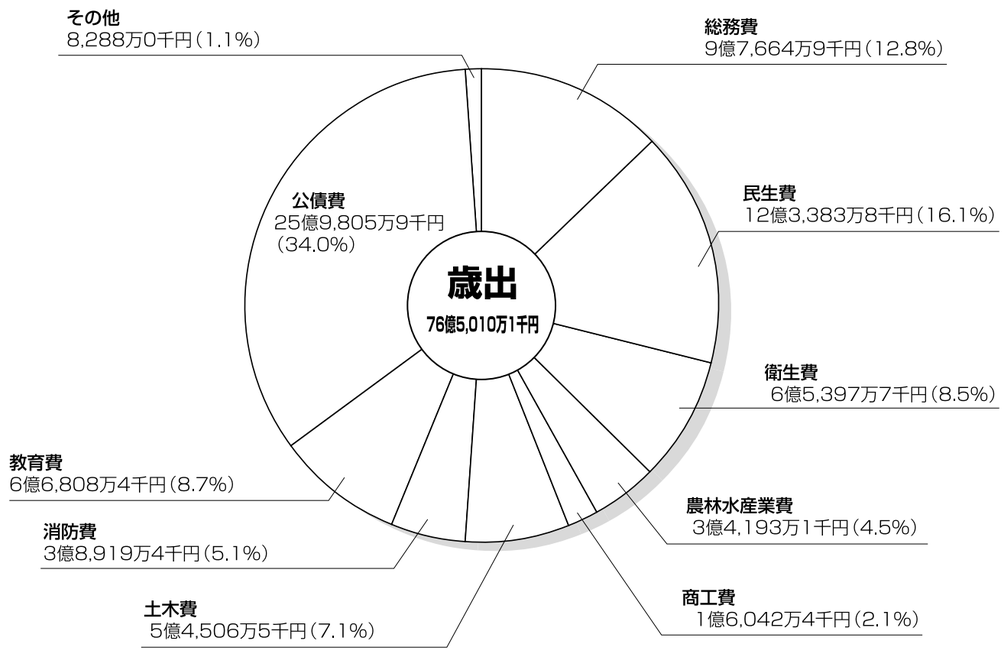
一方、依存財源の割合は、81・6％で、その内国から交付される地方交付税が最も大きく44億1、183万4千円（57・2％）、続いて国庫支出金7億8、658万4千円（10・2％）、町の借金である町債が5億6、106万5千円（7・3％）、県支出金3億3、637万3千円（4・4％）となっています。

また、歳出を性質別に分けてみると、最も多いのは公債費の25億9、805万9千円（34％）で、以下、人件費11億915万8千円（14・5％）、補助費等10億12万1千円（13・1％）、物件費9億1、216万円（11・9％）、普通建設事業費7億7、289万3千円（10・1％）と続いています（グラフ参照）。



性質別構成





—財政分析数値—

区分	Ｈ２０年度決算	Ｈ１９年度決算
経常収支比率	93.1%	95.2%
公債費比率	37.7%	40.1%
人件費比率	21.1%	22.4%
物件費比率	9.8%	9.8%
実質収支比率	1.3%	1.2%
財政力指数	0.188%	0.187%
実質公債費比率	22.7%	23.0%
標準財政規模	50億5,547万7千円	46億5,174万7千円

■健全化判断比率の状況

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成２０年度	－	－	22.7%	175.8%
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%

※実質赤字額または連結実質赤字額が無い場合および実質公債費比率または将来負担比率が算定されない場合は「－」を記載。

■資金不足比率の情報

特別会計の名称	資金不足比率
簡易水道事業	－
下水道事業	－
農業集落排水事業	－
病院事業	－

※資金不足比率が算定されない場合は「－」を記載。

「日原」デジタルテレビ放送局（中継局）の開局について

2009年11月中に日本放送協会（ＮＨＫ）、日本海テレビジョン放送（株）（ＮＫＴ）、（株）山陰放送（ＢＳＳ）、山陰中央テレビジョン放送（株）（ＴＳＫ）は、津和野町枕瀬の枕瀬山から、地上デジタル放送を開始する予定です。**日原中継局の開局により日原地区、枕瀬地区、滝元地区で視聴が可能となります。**

デジタル放送で、きれいな映像、さらに高音質になった音声をお楽しみください。また、これら映像･音声に加え、ニュースや天気予報など、身近な情報やご覧いただいている番組に関連した情報を表示するデータ放送、そして電子番組ガイドがご利用いただけるようになります。

同時にワンセグ放送も開始しますので、ワンセグに対応した携帯電話などの移動端末でも、テレビがご覧いただけるようになります。

地上アナログ放送は2011年7月24日までに終了し、地上デジタル放送に完全に移行します。早めの準備をお願いします。

詳しいお問い合わせは

総務省　地デジコールセンター　0570-07-0101　　ＮＨＫ受信相談窓口　0570-00-3434
ＮＫＴ 0857-27-2111　　ＢＳＳ　0859-33-2111　　ＴＳＫ　0852-23-3434
電器商業組合　デジタル110番　0570-01-0186

—町民負担の概況—

税　金

税目	金額	一人当たりの金額
個人町民税	2億5,125万8千円	28,036円
法人町民税	4,377万7千円	4,885円
固定資産税	4億3,224万9千円	48,231円
軽自動車税	2,038万7千円	2,275円
市町村たばこ税	3,633万円	4,054円
入湯税	343万2千円	383円
合計	7億8,743万3千円	87,864円

※3月31日現在人口　8,962人

使用料

使用料	
費目	金額
総務費使用料	299万1千円
民生費使用料	8万7千円
衛生使用料	1,097万4千円
商工使用料	1,199万8千円
土木使用料	4,695万1千円
教育使用料	3,874万4千円
合計	1億1,174万5千円

手数料

手数料	
費目	金額
総務費手数料	851万2千円
衛生手数料	1831万7千円
商工手数料	7万1千円
地籍手数料	4千円
合計	2,690万4千円

—平成20年度特別会計　決算額—

科目	歳入	歳出	差引（歳入－歳出）
国民健康保険特別会計	12億917万8千円	11億7,920万7千円	2,997万1千円
老人保健特別会計	1億7,725万3千円	1億7,848万円	△122万7千円
介護保険特別会計	11億3,801万1千円	11億1,613万4千円	2,187万7千円
後期高齢者医療特別会計	2億6,522万1千円	2億6,500万6千円	21万5千円
簡易水道事業特別会計	4億3,689万2千円	4億3,509万7千円	1,795千円
下水道事業特別会計	2億7,365万6千円	2億7,244万3千円	121万3千円
農業集落排水事業特別会計	390万6千円	388万9千円	1万7千円
奨学基金特別会計	1,749万8千円	1,749万8千円	0円
電気通信事業特別会計	1億804万6千円	1億499万8千円	304万8千円
病院事業特別会計	5,546万3千円	5,534万7千円	11万6千円
合　計	36億8,512万4千円	36億2,809万9千円	5,702万5千円

—基金の状況—

名称	年度当初残高	年度中積立額	年度中取崩額	年度末残高
財政調整積立金	7億9,365万1千円	2,022万1千円	0円	8億1,387万2千円
減債積立金	4億4,241万8千円	2,685万7千円	9,900万円	3億7,027万5千円
特定目的基金	2億6,174万9千円	1億8,540万円	1億8千円	4億3,714万1千円
合　計	14億9,781万8千円	2億3,247万8千円	1億900万8千円	16億2,128万8千円

【一人当たりの金額　180,907円】

電子申告（エルタックス）について

津和野町では、「eLTAX：エルタックス」（地方税ポータルシステム）を導入します。これにより、インターネットによる電子申告が可能になります。

申告できる税目等概要（平成21年９月14日開始分）

個人住民税	◎給与支払報告書（総括表・個人別明細書） ◎公的年金支払報告書（総括表・個人別明細書）など
法人住民税	◎法人住民税の申告書（中間・確定・修正）など
固定資産税	◎償却資産申告書 （詳細はeLTAXホームページを参照してください）

問合せ先

eLTAXについて詳しい内容や手続等については、eLTAXホームページ（http://www.eltax.jp/）をご覧ください。

利用時間	8時30分から20時まで（土日祝・年末年始を除きます。）
電　話	0570−081459（ハイシンコク） 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。



エルタックス普及キャラクター
「エルレンジャー」

陸上自衛隊　高等工科学校生徒募集

将来、陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となるものを養成するために、中学校卒業者等を対象に採用する制度です。

〈教育及び卒業資格〉

入校と同時に、通信制高校に入学し、高等学校の普通科と同等の教育を受け、併せて技術陸曹となるために必要な防衛基礎学、各種技術の専門教育や各種訓練を受けます。生徒課程（３年間）終了時には、高等学校の卒業資格を取得できます。身分は特別職国家公務員（生徒）で、手当の支給を受けながら高等学校教育等を受ける制度です。

なお、高等学校（通信制）入学は神奈川県立横浜修悠館高等学校です。

【受付期間】平成21年11月１日（日）から
平成22年１月８日（金）

【応募資格】平成22年４月１日現在、15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業者又は、中等教育学校の前期課程修了者

【採用試験】
第１次試験　平成22年１月23日（土）
第２次試験　平成22年２月６日（土）

【試験場所】
第１次試験
松江地方合同庁舎（松江市向島町134−10）
出雲市役所（出雲市今市町109−1）
浜田市合同庁舎（浜田市片庭町254）
第２次試験
出雲駐屯地（出雲市松寄下町1142−1）

【合格発表】
第１次合格発表　平成22年２月２日（火）
第２次合格発表　平成22年２月26日（金）

【採用時期】平成22年４月上旬

【問い合せ先】
自衛隊島根地方協力本部　益田地域事務所
（電話0856（22）8202）にお問い合せ下さい。
http://www.mod.go.jp/pco/shimane

平成21年度一般会計予算　執行状況

【歳　入】

科　目	予算額	収入済額
町税	7億3,767万5千円	5億3,609万9千円
地方譲与税	7,400万円	2,568万5千円
利子割交付額	300万円	116万1千円
配当割交付金	70万円	28万4千円
株式等譲渡所得割交付金	30万円	0円
地方消費税交付金	7,200万円	4,744万5千円
自動車取得税交付金	1600万円	521万5千円
地方特例交付金	1,157万4千円	1,157万4千円
地方交付税	42億6,300万円	29億6,242万2千円
交通安全対策特別交付金	100万円	56万8千円
分担金及び負担金	5,656万4千円	2,358万1千円
使用料及び手数料	13530万4千円	6,774万円
国庫支出金	11億3,502万4千円	7,064万9千円
県支出金	5億4,666万3千円	8,534万6千円
財産収入	4,041万円	2,540万1千円
寄付金	41万4千円	53万2千円
繰入金	9,224万1千円	0円
繰越金	6,366万8千円	6,366万8千円
諸収入	9,683万8千円	1,375万9千円
町債	7億4,827万3千円	0円
合　計	80億9,464万8千円	39億4,112万9千円

【歳　出】

科　目	予算額	収入済額
議会費	7,659万1千円	3,647万1千円
総務費	8億8,769万2千円	3億877万8千円
民生費	12億7,839万円	3億8,387万2千円
衛生費	7億2,007万4千円	2億829万7千円
労働費	126万8千円	78万1千円
農林水産費	4億6,157万2千円	7,310万9千円
商工費	3億3,031万2千円	8,496万3千円
土木費	7億5,163万6千円	1億1,185万7千円
消防費	2億4,578万3千円	1億6,604万7千円
教育費	9億8,389万3千円	2億3,565万2千円
災害復旧費	1億6,950万円	3万1千円
公債費	21億8,359万円	9億1,064万6千円
諸支出	23億7万円	0円
予備費	416万6千円	0円
合　計	80億9,470万4千円	25億2,050万4千円

※この数値は平成21年9月末の執行状況です。

税制改正のお知らせ



平成21年及び平成22年に取得した土地等の長期譲渡所得の1,000万円特別控除制度が創設されました

個人又は法人が平成21年1月1日から平成22年12月31日までの間に取得した土地等を譲渡（所有期間5年超）した場合には、その譲渡益から1,000万円を控除できることになりました。



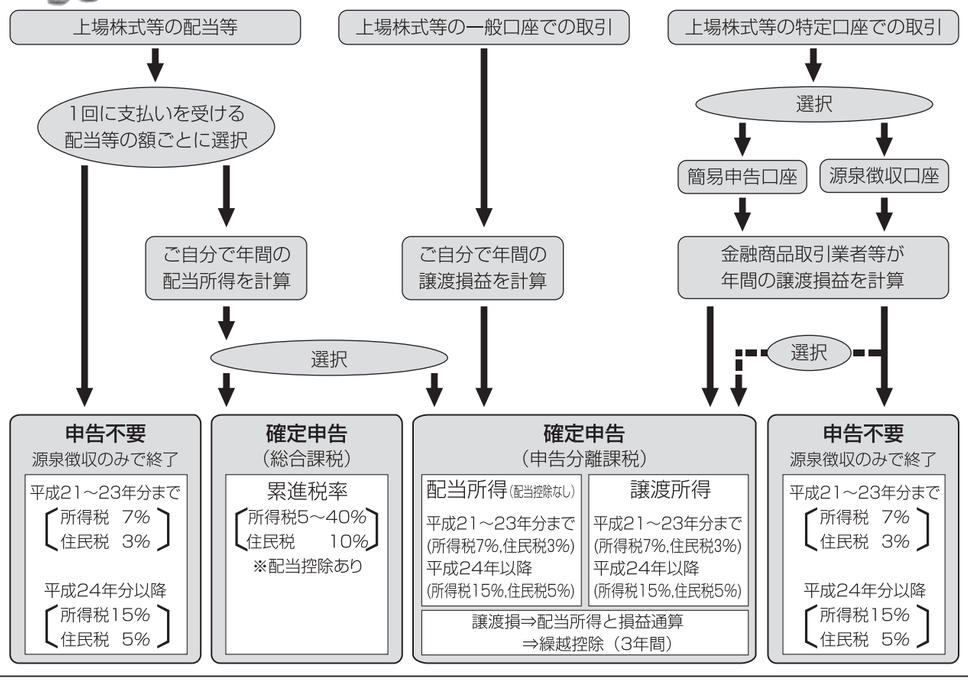
住宅取得等のための金銭贈与に係る贈与税の時限的措置が講じられました

平成21年1月1日から平成22年12月31日までの間に、20歳以上の者が直系尊属（父母、祖父母など）から受ける住宅取得等のための金銭の贈与を受けた場合で一定の要件を満たすときは、当該期間を通じて500万円まで贈与税を課さないこととされました。



金融・証券税制の改正について

上場株式等の配当等に対する課税と上場株式等の譲渡所得等に対する課税の見直しがされました。大まかには次のとおりです。
ただし、上場株式等の配当等については、大口株主等が支払を受けるものを除きます。



詳しくは国税庁ホームページをご利用ください。　国税庁　で　検索

お問い合わせ　益田税務署　TEL 0856−22−0444

70歳以上の国保加入者および後期高齢者医療加入者の方へ

入院時の医療費や食事代の自己負担額減額についてのお知らせ

住民税非課税世帯の方は、入院の際、病院の窓口で「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示することにより、医療費や食事代の自己負担額が減額されます。この認定証の交付を受けるためには申請が必要です。

限度額適用・標準負担額減額認定証をお持ちになった場合、医療費の自己負担限度額や、食事代の自己負担額は下表のようになります。

■１ヵ月の自己負担限度額（高額療養費の算定に使用する月額限度額）

区分			自己負担限度額（世帯） 外来（個人ごと）	自己負担限度額（世帯） 入院＋外来	食事代（1食あたり）
現役並み所得者（3割負担の方）			44,400円	80,100円＋（医療費−267,000円）×1% ＜44,400円＞	260円
1割負担の方	一般		12,000円	44,400円	260円
1割負担の方	低所得者（住民税非課税）	低所得Ⅱ	8,000円	24,600円	210円（長期入院該当の認定を受けた場合 160円）
1割負担の方	低所得者（住民税非課税）	低所得Ⅰ	8,000円	15,000円	100円

（注1）＜　＞内の金額は、多数該当（過去12ヶ月に3回以上高額療養費の支給を受け4回目の支給に該当）の場合の限度額です。
（注2）過去12ヶ月間に通算して90日以上入院し、長期入院該当の認定を受けようとするとき（低所得区分が「低所得Ⅱ」の方）は、医療費の領収書などの入院日数が確認できるものを添付して申請してください。

70歳以下の国保加入者の方で入院予定の方は、健康保険課国保係にご相談ください。
【お問い合わせ】健康保険課72-0651

平成22年度 合併処理浄化槽設置補助 申し込みのお知らせ

高津川は、全国の一級河川の中でも上位の水質を誇っており、このことは、私たち流域住民の誇りであり、下水道加入や合併浄化槽設置等水質浄化への取り組み、日頃の環境に対する努力の成果でもあります。
これからもこの環境を保持し、また、より良くするためには今以上の努力が必要です。津和野町は皆さんとともに水質保全、環境美化、住環境の改善を推進します。

【お申し込み】
合併処理浄化槽を設置したい方は、環境生活課までお申し込みください。
（申請手続きは4月以降）

申込締切　平成21年12月25日

※この事業は国の補助を受けて行っているため、補助基数に制限があります。基数を超えた場合は、応じられないことがあります。

【補助金交付の条件】
①下水道処理区域または認可区域以外の地域にあること。
②店舗等との併用住宅の場合、総床面積の2分の1以上が住居用であること。
③平成22年3月10日までに設置を完了すること。

●お問い合わせ
環境生活課　72-0309

Q個人設置型合併処理浄化槽の設置補助制度をご存知ですか？

合併処理浄化槽は下水道とほぼ同じ機能を持っています。浄化槽を宅地内などに設置し、トイレ、台所、風呂や洗濯等の生活雑排水を浄化槽に集め、微生物などで浄化・消毒し、基準値以下の水質にした水を水路や河川に放流するものです。町では個人設置型合併処理浄化槽の設置に、次のとおり、補助金を交付しています。

人槽区分	補助金限度額	延床面積（参考）
5人槽	332,000円	住居部分の面積が150㎡未満
6～7人槽	414,000円	住居部分の面積が150㎡以上
8～10人槽	548,000円	2世帯住宅等

ねんきんのお知らせ

●年末調整や確定申告には「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を

【お問い合わせ】
浜田社会保険事務所　0855−22−0673
健康保険課　72−0651

◆2月上旬に送付される場合

年の途中から国民年金に加入した場合など、10月1日から12月31日までの間に初めて保険料を納付する方については、翌年2月上旬に同様の証明書が送付されます。

◆国民年金保険料は世帯で連帯して納付

国民年金保険料は、被保険者本人だけではなく、その世帯の世帯主及び配偶者も連帯して納付する義務があります。ご家族の国民年金保険料を納付した場合は、その納付額の全額が納付した方の所得税等の控除対象となりますので、年末調整等の手続きの際にご自身の社会保険料の額と合算して申告してください。この場合、ご家族分の「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」も、申告する方の申告書に添付等する必要があります。

お問い合わせは、最寄りの社会保険事務所（全国312カ所）をご利用願います。

＊社会保険庁ホームページ
http://www.sia.go.jp/

◆国民年金保険料は社会保険料控除の対象

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税の社会保険料控除の対象となります。

国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、毎年1月1日から12月31日までの間に納付（納付見込みを含む）した国民年金保険料の額を証明する書類の添付等が必要です。

◆毎年11月上旬に送付

このため、生命保険会社等が発行する控除証明書と同様に、一年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」（ハガキ）が社会保険庁から毎年11月上旬に送付されます。

証明内容は、本年1月から9月30日までの間に納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

国民年金保険料収納業務の民間委託の実施

平成21年10月1日から、島根県内における国民年金保険料の収納業務は、公共サービス改革法（注）に基づいて一般競争入札により選定された民間事業者に委託して行うこととなりました。

【業務内容】

国民年金保険料未納者への電話・文書・訪問による納付督励および免除勧奨業務等

【民間委託事業者】

株式会社エヌ・ティ・ティ・ソルコ

○この民間委託事業者は、プライバシーマーク等の取得事業者であるとともに、「個人情報の保護に関する法律」に基づき適切な管理を徹底して求められていますので、ご安心ください。

（注）公共サービス改革法とは、官民競争入札・民間競争入札を活用し、公共サービスの実施について、民間事業者の創意工夫を活用することにより、国民のため、より良質かつ低廉なサービスを実現するために、平成18年7月7日に施行された法律です。

社会保険庁から日本年金機構」へ
平成22年1月1日から

国民の皆様の信頼に応え、一層のサービス向上の実現をめざし、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

○現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありませんでした。

○日本年金機構の設立に伴い、これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義でご案内していた各種の関係書類は、内容により、今後は厚生労働省または日本年金機構の名義でご案内させていただくことになりますが、国民の皆様方に何らかの手続きをしていただくことは一切ございませんので、ご安心ください。

○日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなりますが、公的年金制度は、国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりません。

平成22年度の入園児を募集します

平成22年4月から津和野幼花園、畑迫・木部・日原・青原の各保育園および直地児童館等に入園を希望する児童を、次の要領により募集します。
入園を希望される方は、**平成21年12月25日（金）**までに津和野町役場福祉事務所または本庁舎総合窓口に申込書等を提出して下さい。

申込書及び就労証明書は町内の各保育園・児童館および津和野町役場福祉事務所または本庁舎総合窓口にあります。
なお、定員を超えた場合、入園できる基準が同程度の場合には、申込みの早い方を優先して入園許可を行いますのでご了承下さい。

■保育所に入園できる基準

保護者や同居する祖父母等(以下、保護者等)が次のいずれかに該当し、児童の保育ができない家庭です。
(1)昼間に家庭外で仕事をしているので、保育ができない場合
(2)昼間に家庭内で児童と離れて日常の家事以外の労働をしているので、保育ができない場合
(3)母親が妊娠中であるか、または出産後間がないこと
(4)疾病にかかり、もしくは負傷し、または精神もしくは身体に障害がある場合
(5)長期にわたり疾病の状態にある、または精神もしくは身体に障害がある同居の親族を常に介護している場合
(6)震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっている場合
(7)その他町長が認める(1)〜(6)に類する状態にあること（求職中である等）

■提出する書類

○保育園入園申込書
○保護者等が家庭外で働いている場合は、勤務先の事業主の就労証明書及び21年分源泉徴収票の写し
○保護者等が家庭内で働いている場合は、民生委員等による就労証明書
○児童の母親が出産の前後の場合は、医師か民生委員等の証明または母子手帳の写し
○保護者等が親族を常時介護している場合、求職中の場合、災害復旧に当たっている場合は民生委員等による就労証明書
○その他町長が必要とする書類

※ **就労証明書(民生委員の証明を兼ねる)は65歳未満世帯員全員**(児童・学生を除く)**分が必要**です。
※ 前年度から引き続いて入園を希望される方も提出が必要です。
※ 次のような理由は認められません。
・近所に一緒に遊ぶ子供がいない。
・ 小学校にあがるまえに集団生活に慣れさせたい。

◎問い合わせ：津和野町役場福祉事務所（72-0673）

文化コーナー

森鷗外記念館
開館時間　9：00〜17：00
【企画展】
10月1日(木)〜平成22年2月1日(月)
『鷗外の墨蹟』

桑原史成写真美術館
開館時間　9：00〜17：00
【企画展】
『カンボジア
〜ポル・ポト政権 崩壊から30年〜』
9月18日〜12月16日

安野光雅美術館
開館時間：9：00〜17：00
【冬期展】
平成21年12月11日〜平成22年3月10日
（休館日　平成21年12月29〜31日）

○**第1展示室**
「安野光雅・旅の絵本シリーズ第7弾
〜新作　旅の絵本Ⅶ(中国編)〜」
「もりのえほん」
「日本憧憬」Ⅳ

○**第2展示室**
「もりのえほん」
「空想の絵本」Ⅳ

道の駅津和野温泉なごみの里
12月の定休日（あさぎりの湯）
3日、10日、17日、24日の各木曜日
（31日は営業いたします。）

【各種イベント等のご案内】
12月6日（日）、20日（日）は石見神楽公演を行います。
12月9日（水）、23日（水）は季節の湯（ゆず）を露天風呂でお楽しみいただけます。

※お問い合わせ
道の駅津和野温泉なごみの里
(72−4122)

平成21年度　津和野町表彰式

村上俊夫さんら2名2団体を表彰



11月3日に、日原山村開発センターで「平成21年度津和野町表彰式」が行われました。受賞者は、それぞれが様々な分野で地域の発展に大きく貢献された方々です。表彰式では下森町長から受賞者の皆さん一人一人に、賞状と記念品が贈られました。

【個　人】

村上　俊夫さん（小直）

自治会長、公民館長、老人クラブ会長、農業委員等として、地域の振興発展のためにご尽力されました。

岡田　吉男さん（町田）

津和野町盆踊り保存会の事務局長および会長として、多年にわたり津和野盆踊りの保存、継承、発展にご尽力されました。

【団　体】

津和野町流鏑馬保存会

鷲原八幡宮流鏑馬神事を復元され、永きにわたり保存継承、伝統文化の振興と観光の振興にご尽力されました。

麓耕自治会　環境整備実行委員会

圃場整備により変化していく棚田景観を守るため、畦畔内に「つつじ15000本」を植栽管理し、景観維持、環境美化、町内外からの観光客誘致にご尽力されました。



津和野町女性消防隊健闘

女性消防団員が消火活動のスピードや正確さを競う「第19回全国女性消防操法大会」が10月22日、横浜市の日本消防協会中央訓練場で行われ、津和野町女性消防隊が島根県代表として出場しました。

津和野町女性消防隊は、昨年度から島根県消防協会や津和野町消防団などの支援の下、訓練に励んできました。大会では、大きなミスもなく目標の60秒のタイムをクリアするなど機敏な操法を披露しましたが、得点を伸ばすことができず、上位入賞はなりませんでした。

【結　果】

津和野町女性消防隊　37位
タイム　59秒88
得　点　60点

「澄川喜一と語る会」が開催される

10月10日、津和野中央公民館において「澄川喜一と語る会」が開催されました。澄川さんは、隣町、吉賀町出身の彫刻家であり、島根県芸術文化センターグラントワのセンター長でもあります。この時期にグワントワが開館してちょうど4周年を迎えることから、さらなる「地域密着型」の施設を目指すためにさまざまな年代の方から意見を聴いて今後の施設の発展に努めたいという意向から、益田管内では、津和野で初めてこの企画が実現しました。

この日は町内より30人の澄川ファンが集まり、グラントワの利便性や石見美術館の利用方法などについて日ごろから利用していて思っていることなどについて意見交換が行われました。



ファンと意見交換をする澄川さん

さぶみ牧童探検隊の「さくら号」共進会で次席獲得

10月24日に島根県中央家畜市場で行われた「平成21年度島根県種畜共進会」で、さぶみ牧童探検隊の「さくら号」が、第4区若成雌牛の部でみごと次席を獲得しました。

県共進会は、肉用牛の部・乳用牛の部に別れ審査が行われ、さくら号は、肉用牛の部の第4区・若成雌牛20頭の中で、県内各地の強豪を退け、見事に次席を輝きました。

さぶみ牧童体験隊では、左鐙小学校と他校児童、保育園児が左鐙地域の自然とふれあい、農業体験を通して仲間づくりと生産の喜びや苦労、食べ物や命の大切さを学ぶ目的で活動しています。また、京村牧場がこの探検隊の世話役兼農業体験の場として、牛の世話や野菜づくりを行っています。



次席を獲得した「さくら号」

左鐙小、畑迫小で「あすなろコンサート」開催

小規模小学校を対象に行われる「あすなろコンサート2009」が10月24日、左鐙小学校と畑迫小学校で開催され、学校を訪れた広島交響楽団の松崎祐一さんら4名の音楽家が演奏や楽器の紹介などを行いました。



畑迫小学校の児童と共演



松崎さんから楽器の説明を受ける左鐙小児童

秋の郷土料理振舞う「芋煮と地酒の会」開催

10月18日、弥栄神社境内で「芋煮と地酒の会」が開催されました。

津和野の秋の風物詩ともいえるこの「芋煮と地酒の会」は、津和野ならではの伝統の味を楽しんでもらおうと開催されており、毎年、多くの観光客や地元の人で賑わいます。

芋煮は、鯛でだしをとった塩汁に、あぶった甘鯛の身と里芋を加えた素朴な郷土料理です。この日は、津和野の調理師のグループ「庖友会（ほうゆうかい）」の皆さんが調理した2、000食の芋煮と一緒に、津和野の造り酒屋から自慢の3つの銘柄の地酒が無料でふるまわれ、訪れた人達は、秋の味覚に舌鼓を打っていました。

また、殿町通りも歩行者天国として開放され、商工会女性部のみなさんによる「ふれあい広場」が設置されるなど、通りは多くの人で賑わっていました。



会場の様子

医　療

【津和野共存病院　72-0660】
◆月曜日／整形外科（午前）
　小児科予防接種・乳児検診（午後/予約制）
◆火曜日／外科・産婦人科（午前）
◆水曜日／小児科予防接種・乳児検診（午後/予約制）
◆木曜日／外科・産婦人科（午前）
◆金曜日／整形外科（午前/午後）耳鼻咽喉科（午後）
　小児科予防接種・乳児検診（午後/予約制）
※内　科:月～金曜日（午前）
※小児科:予防接種・乳児検診は13時より開始です。
※婦人科:4月から月・水・金曜日の診療はなくなりました。
　木曜日午前の教授診療は今までどおりです。（月1回）

【日原診療所　74-0121】
◆月曜日／内科（午前／午後）
◆火曜日／内科（午前／午後）
　外科（8時30分～9時30分／第1・3・5火曜日）
　※受付は9時まで
◆水曜日／内科（午前）消化器内科検査のみ（午前）
◆木曜日／内科（午前）
◆金曜日／内科（午前／午後）
◆土曜日／内科（午前）※毎週診療あり
　泌尿器科（午前／第1、3、5土曜日）
※泌尿器科の予約は74-0121まで
※水曜日・土曜日は、午前のみです。
※診療日程は、変更する場合があります。

【和﨑医院　72-0025】
◆水曜日／高脂血症・動脈硬化専門外来
　（日本循環器学会専門医）／予約制
◆木曜日／肝臓病専門外来
　（日本肝臓学会専門医）／予約制
＊当院では、苦痛の少ない鼻からの胃カメラを行っています。
＊リウマチ・膠原病専門外来（専門医）を行っています。
＊土曜日午後は診療しています。（14時から17時まで）

【つわぶき医院　72−3500】
◆火曜日／ペインクリニック　15:00～18:00
◆木曜日／ペインクリニック　9:00～12:30
※帯状疱疹後の疼痛や慢性の痛みでお悩みの方はご相談ください。通常の診療も行います。

手話（しゅわ）コミュニケーション

　阪神・淡路大震災における課題の1つに、聴覚障害者への救援物資配布の遅れがありました。避難所でのお知らせ放送・テレビ・ラジオ等が聞こえず、情報が届かなかったのです。
　情報を伝える方法は音声だけではありません。文字・絵など目で見て分かる方法や、実際に対面できる場合には身振りやそれらを組み合わせて伝える方法があります。情報が入ってくると、状況判断をし行動することができます。いろいろな方法で伝えてみましょう。

「冬休み」



相　談

【明るい生活相談】
12月　4日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30
12月18日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30

【無料人権相談】
12月　4日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30
12月10日（木）津和野町民センター　9：00～12：00

【無料行政相談】
12月18日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30

【手話生活相談】
12月　9日（水）役場本庁舎　13：30～16：00
12月　　日（水）役場本庁舎　13：30～16：00

【年金相談】
12月22日（火）益田市民学習センター　10：00～16：00

【心配ごと相談】
12月11日（金）津和野町福祉センター10：00～12：00
12月25日（金）津和野町福祉センター10：00～12：00
☆地区心配ごと相談
木　部…12月　1日（火）木部公民館　9：00～11：30
津和野…12月　3日（木）
　津和野町福祉センター　13：30～15：00
畑　迫…12月11日（金）畑迫公民館　9：00～11：00
小　川…12月11日（金）小川公民館 13：30～15：00

【無料法律相談（要予約）】
12月17日（木）津和野町保健福祉センターやまびこ13：00～16：00
※津和野町社会福祉協議会（72-1494）へご予約ください。

【交通事故相談及び巡回相談】
○交通事故相談所浜田支所
・開設日　毎週月・火・水・金曜日
・時　間　9：00～12：00、13：00～16：00
○交通事故巡回相談
12月24日（木）益田市役所　9：00～15：00
※島根県交通事故相談所浜田支所（0855-29-5563）へご予約ください。

【育児相談】
12月　9日（水）
　青原保育園内子育て支援センター　10：30～11：30
12月22日（火）
　直地児童館内子育て支援センター　10：30～11：30
※乳幼児の育児に関する相談、計測などを行います。

【心の相談】
思春期の子どものこと、物忘れや認知症のこと、心の病気の治療のことや家族の対応のことなどの悩み事、心配事を相談してみませんか？松ヶ丘病院の医師が相談を受けます。
　12月　7日（月）津和野町民センター保健室　10：30～
※12月　3日（木）までに健康保険課（74-0651）へご予約ください。

ご　案　内

【平成21年度男女共同参画テーマ別お届け講座】

　男女共同参画をテーマにした講座を実施します。ご希望のテーマ、ご希望の会場を見つけて、ぜひともおいでください。
①「見直してみませんか？これまでの男女の生き方～超高齢化社会をしなやかに生きる!」
講師:鍋山祥子さん
　（山口大学経済学部准教授）
日時:1月26日（火）9:30～11:30
場所:安来市伯太中央交流センター（わかさ会館）
　（安来市伯太町東母里）
共催・申込先:安来市人権施策推進課
電話:0854-23-3095
②「男女共同参画のまちづくりって？～過疎・少子・高齢化に負けない地域力を築く」
講師:山田知子さん
　（比治山大学大学院現代文化研究科准教授）
日時:2月26日（金）　14:00～16:00
場所:松江市島根県公民館（松江市島根町加賀1414）
共催:松江市男女共同参画センター・松江市島根公民館
申込先:松江市島根公民館（0852-85-2301）

【国立大学法人等職員採用試験のお知らせ】

　中国・四国地区国立大学法人等職員採用試験の試験案内の配布が始まりました。
受験資格:昭和56年4月2日以降に生まれた者
受付期間:平成22年4月1日（木）～4月9日（金）
第一次試験日:5月16日（日）
詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://home.hiroshima-u.ac.jp/jinji/shiken/
問合せ先
中国・四国地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用試験事務室
電話082-424-5616

【くにびき学園西部校学園祭】

　舞台発表・各科研修成果発表・チャリティーバザー・「シクラメン・苔だま」等の展示即売、陶器絵付けコーナー等の他、お茶席・喫茶の出店等の催しがあり、新春のひと時を楽しんでいただけると思います。皆さまお誘いあわせの上お出かけください。
○日時:平成22年1月30日（土）9:30～15:00
○場所:浜田市野原町いわみーる内
○お問い合わせ:いわみーる内くにびき学園西部校
（電話:0855-24-9336）

【清流高津川フォトコンテスト作品募集】

　島根県では島根県芸術文化センター・山陰中央新報社との共催により「清流高津川フォトコンテスト」の作品を募集しています（詳しくは「広報つわの」8月号（Vol.46）をご覧ください）。
申込・問合:
〒697-0015　浜田市竹迫町2886
山陰中央新報西部本社「高津川フォトコンテスト事務局」
電話:0855-24-3480　**FAX**:0855-24-3477
応募締め切り:平成22年1月15日（金）必着



健（検）診・予防接種

乳幼児健診の日程変更のお知らせ

　医師の都合により、下記のように変更になりました。対象になっておられる方には、12月末にご案内を送付します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。
（変更前）
平成21年12月18日（金）やまびこ
平成22年2月25日（木）津和野町民センター
（変更後）
平成22年1月18日（月）　午前：やまびこ
午後：津和野町民センター

フッ素塗布（2回目）実施のお知らせ

子どもの虫歯を予防するために、集団で年2回、フッ素塗布を行います。在宅児で希望される方は、事前に申し込みをしてください。
○日程

日にち	在宅児受付時間	会　場
12月　2日（水）	9:00～9:10	直地児童館
12月　4日（金）	9:00～9:10	津和野幼花園
12月　7日（月）	9:00～9:10	木部保育園
12月　8日（火）	9:00～9:10	畑迫保育園
12月10日（木）	9:00～9:10	日原保育園
12月11日（金）	9:30～9:40	青原保育園

○対　象：1歳～小学校就学前の幼児
○料　金：1人分110円
○持参品：胸元にかけるタオル
○申込先：健康保険課（72-0651）
　※希望日の3日前までにお申し込みください。

神経難病専門相談のお知らせ

　ふらつきやすい、手足のふるえや力が入りにくい、食べ物が飲み込みにくい、言葉が不明瞭、動作に時間がかかる等身体の不調が続き受診しても原因が解らず不安、また難病（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、ALS等）と診断されているが、療養生活や介護をどうしたらよいか悩んでいる等患者さんや家族の方を対象に専門医による相談日を開設します。

1　開催時期:平成21年12月17日（木）13:00～15:00
2　開催場所:益田保健所
3　内　　容:専門相談（個別相談）
　神経内科医　高吉宏幸（島根大学医学部付属病院）
4　相談方法:予約制としますので下記の連絡先まで電話でお申し込み下さい。
　島根県益田保健所　医事・難病支援グループ
　TEL 0856（31）9549